

## はじめに

はじめまして、地理おた部と申します。普段は高校で地理を教え、日々作成した教材や地理に関する情報をSNSで発信しています。高校では2022年度から「地理総合」が始まり、生徒全員が地理を履修することになりました。地理が好きな人にとってはうれしい話ですが、苦手な人からすると「うーん……」って感じかもしれませんね。地理は地形や気候の他、統計やグラフの読み取りなど理系の要素を含むため、苦手意識を持つ人がいるかもしれません。でも、例えば、地形の成り立ちを学べば、いつも見ていた風景が違って見えるようになります。ただ何となく見ていた河川も、「河岸段丘」「自然堤防」というように地形の判別ができるようになるのです。加えて「あの場所は浸水しやすい」「あの場所は安全」という判断もできるようになり、防災の意識も高まります。また、旅行の際に見た美しい景観も、名称や地形を知ることにより深く楽しむことができるようになります。つまり、地理の知識を得ることで、これまで見てきた景色をアップデートできるのです。

地形や気候は、農業や工業に大きな影響を及ぼし、私たちの暮らしか文化にも深く関わっています。例えば、私たちの暮らす日本は、温暖で降水量の多い地域なので稲作に適してい

ます。お隣の中国は、気温が日本と同じぐらいでも降水量が少ない地域では、小麦が多く栽培されています。そのためラーメン、餃子、肉まんのように、小麦が使われている食べ物も多そうです。食文化が違えば、それに関わる催事やマナーも異なり、各国独自の文化が育まれていきます。地形や気候はそうした文化の源流ともいえます。つまり、自然のしくみを学ぶことで、世界の国や地域の特徴をより深く理解できるようになるのです。

さらに統計やグラフの読み取り方を学べば、情報を正しく分析し、客観的に世の中の実態を知ることができるようになります。共通テストにおける地理の問題でもグラフの読み取りは頻出しますが、年度によってデータは異なり、過去に出された問題から大きく変化していることもあります。例えば10年以上前は、アフリカの多くの国は開発途上と見なされていました。しかし最近では、体制や政策の変革、レアメタルの採掘などによって著しく成長している国も目立つようになりました。地理は最近の事象やデータも扱うので、現代世界の動きをいち早く知ることのできる科目だといえます。

このように、地理を学ぶと世界の自然環境や現状を知ることができ、それに基づいていろいろと思考をめぐらせることができるようになるのです。そんな体験をする人が少しでも増えてほしいと思います、この本を書きました。また、はじめて地理を教える方や、地理が専門ではない方のお役に立ちたいという思いも込めています。この本を通して、少しでも地理が好きになっていただければ幸いです。